

令和4年度第3回大船渡市学校支援活動運営委員会

日時 令和5年2月17日（金）～2月24日（金）
場所 書面開催
出席者 運営委員会委員 4名
鎌田慎委員、佐藤和生委員、菊地尊委員、船渡定子委員

〔会議内容〕

1 開 会

令和5年2月17日（金）に各委員へ会議資料と意見書を送付し、2月24日（金）までに意見書を提出してもらう形で開催。

2 協 議

第1号 令和4年度大船渡市地域学校協働本部事業の総括について
各事業に対する主な意見は下記のとおり

【英語スクール、家庭教育学級について】

- ・（鎌田委員長）アンケートの結果からも実施している団体や参加者から高評価を得ている。今後3年に一回の実施という制限が課せられると、せっかくの良い取り組みが継続されない地区がでてくることが考えられる。また、中学校区での実施となれば特に大船渡一中のような学区が広範囲にわたる地区においては、参加者のニーズにあった内容の選定や参加体制の面で今までのような地域密着の取り組みがなされない可能性が高い。
これまでのように、各団体から実施の希望があった場合には、可能な限りバックアップしてほしい。
- ・（佐藤委員）家庭教育学級においては、コロナ禍でも様々な工夫を凝らして取り組んでいる。評価項目に参加人数の前年度比を入れ、それはそれでよいと思うが、評価校目②の知識の習得や参加者の感想など、質の部分の評価もさらに大切にしていける必要があると感じた。
- ・（船渡委員）コロナ禍にあっても、一時期よりも学級を実施してくれる施設が増えてきていることに、現場の方々の理解と協力があったこそ、と感謝。
英語体験教室の回数を増やすことで、申込者全員が受講することができ、事務局の臨機応変な対応が良かったと思う。

【青少年体験学習事業について】

- ・（鎌田委員長）長期休業中に、子ども達に様々な体験をさせることはとても有意義な活動であると思うが、会場までの交通手段がなく、参加できない子ども達もいる。
例えば、長期休業中に子ども達が集まる学童保育クラブのようところで体験学習が実施できないだろうか。実施回数や日程等調整が必要にはなるが、確実に各地区の子ども達が参加でき、貴重な体験をすることができる。学童保育クラブからの希望をとってみることも考えていただきたい。

【スクールガード配置事業、学校支援事業について】

- ・（鎌田委員長）学区が広範囲にわたる 11 校に 36 人のスクールガードでは、子ども達の安全な登下校を見守ることは難しいのではないかと。今後も人材の確保に向けて、各校とも協力しながら対策を講じる必要がある。
- ・（船渡委員）子ども達が安全に登下校するために必要なスクールガードである。人材の確保の難しさ、毎年の課題と思う。
- ・（佐藤委員）スクールガード配置事業及び学校支援事業は、とてもいい事業であると感じている。スクールガードに関するアンケートを見ても、肯定的な回答や感謝のコメントが多い。また、児童にとっても、自分達の安全を守ってくれる地域の方という思いが強い。

【学校運営協議会設置事業について】

- ・（鎌田委員長）本年度より学校運営協議会として、地域と学校が協働して教育活動を行うことが組織化された。これまでも学校と地域が協働して活動することは行なわれてきたが、組織として活動を見直すことで、より効果的で無理のない活動の内容を協議することができた。地域の方々を動かすためには、地域コーディネーターの果たす役割が大きいので適切な人材を各校に配置することが必要である。コーディネーターの候補となる人材を学校に紹介していただければありがたい。

第 2 号 令和 5 年度大船渡市地域学校協働本部事業の評価検証方針について
各事業に対する主な意見は下記のとおり

【英語スクール、家庭教育学級について】

- ・（菊地委員）英語スクールをこの事業でやるのが素晴らしい。この流れで国語と読書をつなぐ教室を提案したい。学者や教育のプロの講座ではなく、大学受験生を持つ親のリアルなアドバイスが得られる場の方が良いと感じている。国語は、数学にも英語にも密接に繋がり、全てを底上げする教科。大学受験の文章題を制限時間内に解答しきるためには、幼少期からの読書の習慣づけが大事。今から間に合う読書のはじめの一歩みたいな流れで、市内の学力の底上げが図られれば、と理想が膨らむ。

【青少年体験学習事業について】

- ・（船渡委員）陶芸も体験教室も好評で、十分な成果を挙げている中、次年度は別の事業の中で実施予定とのことで、その理由が気になったが、別の事業に移っても、引き続き充実させてほしいと思う。また、同時に新たな講座開設に向けて、また十分にご検討を期待する。

【スクールガード配置事業、学校支援事業について】

- ・（菊地委員）参考資料にもあったが、会社員を関わらせることを視野に入れた方が良いと感じている。個人としては、仕事を抜け出せないのが、難しいが、企業の地域貢献が先に立てば、実現可能になる。企業としても、目に見える地域貢献ができるメリット有。ゴミ拾いより素晴らしいと考える。市役所職員のゴミ拾いを、スクールガードにあてるのも良いのでは。そこから見えるものもある。

【学校運営協議会設置事業について】

- ・ （船渡委員）中学校などは、統合により、地域が広範囲になる中での活動となるので、難しさを感じる。これから充実していくことを願う。